

街灯の電気料金補助を

伊藤 淳一議員

問 街灯の電気料金の支払い、街灯設置者が町道であれば町、道々であれば道であり、町内会から除かれているところがあり、電気料金の負担に差がある。

又、町内会会員の高齢化と減少により、負担が大きくなってきている。

補助率を上げることにより負担の軽減を図ってはどうか。

答 街灯の電気料金の補助率は他の制度と比べてかなり高く、又、他町と比べてもトップクラスだ。

また、一般の経済危機対策で、大多数の街灯がエコ電燈に変わり、電気料金の

負担も軽減されたと考えている。

協働のまちづくりの精神を維持しながら、現状において何がベストなのか、すべての制度について検証していく。

入居者のペットマナーについて

伊藤 淳一議員

問 公営住宅でペットを飼ってはいけないことになっていないか。現実には苦情を聞いたが現状はどうなっているのか。積極的な指導の姿勢が必要だと考えるが、どのように対処しているのか。

公営住宅入居時に、入居の心得の中に、「周辺の環境を乱したり、他に迷惑を及ぼす行為をしてはいけない」となっており、基本的にはペットを禁じているが、年間数件の苦情がある。直接お宅を訪問してペットの飼育をしないようお願いしている。

必要な職員研修推進を

末柄 薫議員

問 町職員はまちづくりや住民サービスの主力だと思いが、昨年度の研修費は執行残があった。地方分権や行政改革で大変であるが、研修をさらに積み、人格や見識を高めていくことが必要と考えるがどうか。

昨年は町長及び副町長が講師だったので経費がかからなかった。今年度はメンタルヘルスを含め、いつでも対応できる形で研修委員会で協議していく。

去年は町長及び副町長が講師だったので経費がかからなかった。今年度はメンタルヘルスを含め、いつでも対応できる形で研修委員会で協議していく。

民生

国保税の値上げを抑える措置を

深見 迪議員

問 標茶町は、この三年間国民健康保険税の住民負担軽減について一般会計から繰り入れるなど非常に手厚い措置をしてきた。

国保税が高い原因は、以前は、国保に対する国の負担率は五〇%だったが、現在は半分の二五%にまで下がったことにある。その分国保税は倍になり、町民の負担も限界にきている。

国保税の値上げを抑えるための措置をぜひ今年度も続けるべきと考えるがどうか。

答 二十年度、二十一年度と町としては、一般会計からの繰り入れということで出来るだけ保険税に影響を与えないような形で対応してきた。

今日の経済状況等々踏まえれば、被保険者の負担を増やすことが現実的にはどうなのかというところは想定をしている。出来るだけ被保険者の負担が急激に変化するのではないように、町民の理解を得ながら対応していきたいと考えている。

後期高齢者医療保険料の値上げ抑制を

深見 迪議員

問 後期高齢者医療制度の保険料が二十二年



度から四・九九%も上がる事になった。現政権が公約を守って制度廃止をするか、値上げを抑制する財政措置をすれば値上げしなくても済んだことだが、値上げを抑えるために、道が、財政安定化基金への積み増しをして、値上げを抑えるよう求めるべきと考えるがどうか。

また、標茶町としても、被保険者の軽減・値上げ抑制の施策をとるべきと考えるがどうか。

答 構成員の一員としてそれなりの考えは伝えていきたい。

現状から将来を見たときに現行の制度が恒久的に続くという状況にないと考えている。被保険者に多大な負担をさせない運営をする方式を模索をし、努力する、あるいは、町民の理解を得ながら財政支援をすること

後期高齢者医療制度の保険料が二十二年



が妥当だということがあればそれもありうるかと思うが、現状では、町独自で被保険者の軽減、値上げ抑制の施策をとることは、多少難しい面があるのではないかと考えている。

駒ヶ丘荘の改修等の計画は

小林 浩議員

問 第四期の中で計画を立てたいと聞いたがどの様な見通しか。又、耐震工事等予算計上がないが別途予定があるのか。

答 施設改修には新設と同等の改修費用を要

することから、新たな所に設置するというのも視野にいれながらという考え方を持っているが、現在の形で当面運営していくことで入居者の理解を得ている。

デイサービスの利用低下の対策は

小林 浩議員

問 高齢化率が上がり認定を受けている人が増えているが、利用率が下がった要因はなにか。

答 施設の一日の基本定員は二十五人で運営しているが体調不良や、ショートステイを利用中で休む人がおり、利用率低下になっている。

問 行政と民間の介護施設が連携し、利用者がサービス介護を受けられるような対策が必要ではないか。

答 基本的には現状週二回上限の中で運営しているが、利用率を上げるためにも民間の手法を参考にし、検討していく。

ショートステイの利用増について

小林 浩議員

問 やすらぎ園に急に入所するより、施設になれるという部分の入所もあると思うが、別な区切りを持った所のできるようにすべきではないのか。

答 ショートステイ用のベッド数は十二床で、配置計画は道に提出しており、決められた中で利用範囲となっている。

問 短期入所のベッド数を増やす考えはないか。

答 第五期以降の介護保険計画を策定する段階で検討すべき課題であると考ええる。

やすらぎ園待機者の解消を

小林 浩議員

問 民間施設は限定され他人が入居する施設であるので、公共の駒ヶ丘荘を条件的に入居しやすい施設にできないのか。

答 国に対してベッド数の開放を強く求めていかなくはならないが、官民の施設運営のあり方を含め、福祉施策検討委員会等で今後の計画について議論していく。

環境衛生



公園等でのペットのマナーについて

伊藤 淳一議員

問 犬を公園やキャンプ場など公の場で放している光景をよく見るが、看板を立てて注意を呼びかけるだけでなく、他にも対応策が必要だと考えるが伺う。

答 犬を飼育する場合は鎖等でつなぐが頑丈なさくの中で飼うのが原則で、散歩する時も放さないことになっている。ふんの処理等で苦情もくるが強制的に禁止するのではなく、お互いにルールを守りながら、理解し合い快適な地域づくりができるよう、みんな考えていきたい。

農林

エゾシカ駆除のため林道除雪を

後藤 勲議員

問 冬期における町有林、道有林、国有林内の道路の除雪を実施すれ



ば有害駆除実施隊の成果がもっと上がると考えるがどうか。

答

実際の運用の中で関係課と協議しながら検討していく。管内エゾシカ対策協議会においても要請していきたい。また、道有林、国有林についても申し入れをしていく。

中山間事業での草地改良の実績は

黒沼 俊幸議員

問

二十一年度の中山間共同取り組み活動の中で草地整備の実績はどのくらいか。

答

共同取り組み活動での草地整備面積は、一二六件で、八、三三二万九千円である。面積は一、三〇〇ha位になっている。

育成牧場の哺育の事故率は

黒沼 俊幸議員

問

哺育施設の稼働状況と仔牛の事故率は、どの位になっているか。

答

哺乳のロボットが二台で、月平均七十頭から八十頭の受け入れ可能で、現在は四十から五十頭ぐらいなので空いている。病気で死亡した牛に対して一・一％ぐらいになっている。

哺育事業の成果は

末柄 薫議員

問

育成牧場の哺育事業は順調に成果を上げており「酪農の振興、農家の経営に寄与すること」という牧場の目的を果たしている。今年度は条例等の整理をし、さらに標茶酪農に寄与されるべきだと考えるがどうか。

答

哺育事業は平成十八年から開始をし、農家との信頼関係もできてきた。哺育料金は平成二十年に改定し、まだ二年目である。もう少し時間をかけ、原価計算等をしながら簡単に料金改定しないだけの基礎をつくってから整理をしたい。

農地法改正で標茶の取り組み内容は

館田 賢治議員

問

農地の利用集積円滑化事業の計画や取り組み状況はどうなっているか。

答

まだ具体的な決定はしていない。有効な事業だと考えているので、今後関係機関と協議しながら検討をしていきたい。



地域産業を生かしたシカ対策を

田中 敏文議員

問

年間十数名が非常勤職員として、駆除に

当たる中で、駆除数ほどの程度を見込んでいるのか。

答

実施隊を加えて年間一九〇頭計画し、猟友会とも打ち合わせし、実行可能な頭数ということに計画をした。

問

非常勤職員としての四時間以内、以上と制約があるのか。

答

勤務時間は出勤時間が対象である、出勤して任務を終了するまでが対象になる時間と考えている。

問

行動記録は残るのか、又GPS発信記録なり、ディスプレイなどか、対応を聞く。

答

報告書で詳細に提出される。実施隊には駆除活動を阻害することがないように運用していく。

問

購入車両はどのように活用されるか。職員がシカを回収する為に活用する予定をしている。

答

焼却処分は、現在の焼却処分は、現在の施設で十分可能で、

一般廃棄物の焼却の日数と現場での調整しながら処分していく。

問

地域の資源として囲いかな方式で個体数を減らす検討は。

答

銃器による捕獲というところで検討してきた。加工するために発砲するのでは効率さが下がる。現段階での目的は被害を軽減させ、原則は焼却ということと考えている。

問

囲いかな方式のモデル地域を選定し、間伐材の有効活用、地域のものを生かしたモデル的な循環をさせるような一次産業を守る方策等を検討すべきと思うが。



答

実態については道も認識し、狩猟から駆除へとなり、問題点は、学習したシカが察知し駆除効率が上がらない実態があり、基幹産業の存亡にかかわる。多くの頭数を狩猟してもらうことが願いで、現時点ではそういう状況ではない。

商工・観光

標茶ブランドの今後の見通し

小林 浩議員

問

標茶高校でつくっている牛乳を給食の中で月に一回位飲んでもらいそこから標茶ブランドへのきっかけをつくるとの議論が以前にあった。その後ブランド化について難しいとの見解を得たが、今後の見通しはどうか。

答

牛乳消費拡大事業の中で牛乳を入れる事は供給体制が整えば難しいことはないと思うが、学校給食は入札制度で実施され

ており、製造者側に課せられていてハードルが高いことなどから、農協側で新たな委託生産の方法がないか検討を進めていると聞いている。

生産者の中から出てくる動きがあれば支援をしたい。また、量的な事とどこで加工するのかという問題があるが、加工グループの生産者の方が動き出しているのではしばらく時間がほしい。

観光施設の使用料収入増を

館田 賢治議員

問

予算案ではキャンプ場など観光施設の使用料収入が減っているが、今後の施策を聞く。

答

予算は、二十一年度の実績を見て、絞り込んで計上した。観光の振興は、標茶の活力を作る重要なことなので、利用促進に努力をしていく。

土木

地域性を考慮した入札制度を

館田 賢治議員

問

標茶町は入札の資格基準で最低ラインは設けていないようだが、その考え方について聞く。

答

本町では、平成十三年度から「低入札価格調査制度」を採用し、不当なダンピング受注を防止している。

問

入札に関しては、地域性を配慮した考え方も必要ではないかと考えるがどうか。

答

本町においては強烈なダンピング競争は起きていないと認識しているが、今後、失格基準の設定については、地域性等い

ろいろ考慮していきたい。

役場前の駐車場を広げてはどうか

後藤 勲議員

問

役場前の憩の広場の件について、都市計画審議会でのような話になっているか。

答

3回の審議会で意見の聞き取りをしたが、駐車場を広げるという意見は特に多くはなかった。

問

障害者の人たちが出入りしやすいように、役場前の駐車場を広げてはどうか。

答

交通安全上の問題があつて結論には至っていない。審議会では駐車場を広げるといふ意見はほとんどなかった。今後も検討を続けていく。

道々駅前中央通りの雨水対策を

後藤 勲議員

問

道々と町道の境目の所は排水が悪く、融雪水が溜まっている状態で

あるが土木現業所との協議をされているのか。

答

融雪水等が溜まっており連携しながら対応していく。

問

歩道も一部雨水が住宅側に入っているが、改良について協議すべきではないか。

答

土木現業所に現状の調査をしてもらい、町側からもお願いしていくことは可能かと思う。

教育

競争主義を持ち込む学力テストをなぜ押しつけるのか

深見 迪議員

問

文科科学省は、「全国学力・学習状況調査」の実施を、これまでの全国の全校が実施する調査から、三〇%程度の「抽出調査」でよいとしたが、この意味をどうとらえているか。

答

効果的、効率的な面では、あえて全校実

施の悉皆にするよりも抽出でいいのではないかとという理解をしている。

問 北海道は、この学力調査に九、六一九万三千円もの予算を計上し、

「全道の市町村教育委員会に活用を働きかけてきた。」と聞いているが、本来、それぞれの学校が決めるべきことなのに、これでは押しつけになるのではないかと。

答 決めたのは教育委員会だが、押し付けではなくて、あくまで道教委の方から、採点だとか、分析だとか、そういった経費を保障するということなので、これからは細やかな指導改善に役立てることができると考え、希望した。

給食費の口座振替は行っているか

後藤 勲議員

問 釧路市で給食費の口座振替を全面的に導入にしているが本町はどうなっているか。

答 給食は一食当り小学校二〇五円、中学校二四〇円ということで保護

者に納入の案内をしており、ここ二年間の未納はなく、大半口座振替えを行っているが一部の学校は行っていない。



学校給食共同調理場

北教組問題で実態調査をするべきではないか

館田 賢治議員

問 北教組問題で、違法献金、違法選挙があり逮捕者が出たが、標茶町でも影響があったか。

答 これらの関係について一切影響はない。勤務時間中の組合活動等については実態調査をすべきではないか。

問 勤務時間中の組合活動等については実態調査をすべきではないか。

答 改めて調査をする考えはないが、道教委の方から話があればそれなりの対応をしていく。

学力調査の結果を公表してはどうか

館田 賢治議員

問 学力調査の結果を、保護者、住民全体に知らせてはどうか。

答 住民全体には、個人の特定をされる場合もあるので公表は保護者に行っている。

問 全道的に標茶の学力はどの程度の位置にあるのか。

答 ほぼ満足できる状況にあるが、基礎、基本の活用について課題がある。

入学、卒業式の国旗、国歌についての問題は

館田 賢治議員

問 入学式、卒業式とのきの国歌、国旗について、苦慮している実態はないか。

答 それぞれの学校で適切に実施されていると判断している。

パークゴルフ場、プールの利用者増を

館田 賢治議員

問 パークゴルフ場やプールの利用が減ってきているが、利用者が増えるような取り組みを考えるべきではないか。

答 パークゴルフ場については、燃料の高騰、大会がなかったことなどが原因と思われる。今後PRに努め、利用の促進を図っていききたい。

プールについては、年二回管理者会議を行い、利用状況の調査等もしている。今後利用増につなげる対策をとっていききたい。

第一回臨時会

平成二十二年二月十五日

平成二十一年度下水道事業会計の補正予算の提案がありました。これは磯分内地区下水道新設工事における債務負担の増額補正で、

原案通り可決しました。

◎債務負担行為とは

通常、予算は単年度ごとに決められますが、次年度以降において経費の支出を伴う複数年の事業の契約等を行う場合に、その債務を保証するための予算措置を明らかにするものです。

意見書

次の三件の意見書を国と北海道の各関係機関に送付しました。

●意見書第一号

拉致被害者の早期救出を求める意見書

拉致被害の現状を理解し全ての拉致問題の早期解決を図ることは日本国民としての義務である。早期の拉致被害者救出の実現に向け積極的な行動を推し進めるよう要望するものです。

●意見書第二号

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書